

あつみ
狂言
鑑
2025

作・旭堂南湖
演出・茂山童司

近江鉄道 珍道中

おうみてつとう ちんどうちゅう

2025年新作狂言



各公演終了後、
新作狂言「近江鉄道珍道中」
作者・旭堂南湖氏を迎えて
アフタートークを開催!

1 2025年 午後2時開演
1月26日(日) (午後1時15分開場)

東近江市てんびんの里
文化学習センター

〒529-1421 東近江市五個荘竜田町583
TEL:0748-48-7100

演目 古典:膏葉煉、腰祈 新作:近江鉄道珍道中

<https://higashiomi-j.com/tenbinnosato/index.html> 全席指定

2 2025年 午後2時開演
2月16日(日) (午後1時15分開場)

甲賀市
あいこうか市民ホール

〒528-0005 甲賀市水口町水口5633
TEL:0748-62-2626

演目 古典:柿山伏、附子 新作:近江鉄道珍道中

<https://www.city.koka.lg.jp/2217.htm> 全席自由

3 2025年 午後2時開演
3月22日(土) (午後1時15分開場)

日野町町民会館
わたむきホール虹

〒529-1601 蒲生郡日野町松尾1661
TEL:0748-53-3233

演目 古典:佐渡狐、千鳥 新作:近江鉄道珍道中

<https://www.rmc.ne.jp/watamukihall/> 全席自由

全会場にてご当地名物の販売あります!
各公演開催地エリアのあの品、この品。
滋賀の銘品をお土産にどうぞ!!

入場料(消費税10%込)

一般 : 2,500円
青少年(24歳以下) : 1,000円

チケット発売日 11月16日(土)

※当日券500円増。ただし、他会場の
チケット・半券提示で当日券を
前売料金で販売。6歳以上入場可。

● チケット
お求め先

全公演取り扱い

- ローソンチケット(Lコード 54224)
びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ)
- ① てんびんの里文化学習センター、東近江地域勤労者互助会(会員のみのみ)
オンラインチケットサービス <https://p-ticket.jp/yokaichi-bungei>
- ② 甲賀市あいこうか市民ホール、
(一財)甲賀湖南中小企業福利サービスセンター(会員のみのみ)
- ③ わたむきホール虹、東近江地域勤労者互助会(会員のみのみ)、
(一財)甲賀湖南中小企業福利サービスセンター(会員のみのみ)

出演:茂山千五郎家 各演目の出演者はWEB等でご確認ください。

OHMI KYOGEN ZUKAN



主催/公益財団法人びわ湖芸術文化財団、公益財団法人東近江市地域振興事業団、甲賀市教育委員会、公益財団法人日野町文化振興事業団 後援/滋賀県教育委員会、東近江市
東近江市教育委員会、東近江市観光協会、一般社団法人甲賀市観光まちづくり協会、日野町、日野町教育委員会、日野町観光協会、NHK大津放送局、e-radio エフエム滋賀
協力/近江鉄道株式会社 制作協力/株式会社童司カンパニー

この事業は(公財)びわ湖芸術文化財団と(公財)東近江市地域振興事業団と甲賀市教育委員会と(公財)日野町文化振興事業団が協働して実施している。

おうみてつどう ちんどうちゆつ
近江鉄道珍道中

全公演共通演目

作：旭堂南湖 演出：茂山童司
出演：茂山千五郎、茂山 茂



プロ野球日本シリーズが京セラドーム大阪で行われることになった。東京に住んでいる大会社の会長と秘書。鼯眞球団を応援するため、新幹線に飛び乗った。どういわけか、滋賀県で途中下車!? 秘書がいうには「近江鉄道に乗ればいい」。着いた駅が……。ひょんなことから近江鉄道に乗って観光する二人。さてさて、どんな珍道中になるのでしょうか。



旭堂南湖(きょくどう・なんこ)

講師。1973年生まれ。滋賀県甲賀市甲南町出身。水口東高校卒業後、大阪芸術大学入学。大阪芸術大学大学院修士課程修了。1999年、三代目旭堂南陵に入門。2002年、大阪舞台芸術新人賞受賞。2010年、文化庁芸術祭新人賞受賞。2021年、滋賀県文化奨励賞受賞。著書「滋賀怪談 近江奇譚」(竹書房怪談文庫)。

狂言
とは?

猿楽を起源とするセリフ劇で、一般庶民のちょっとした失敗話などをユーモラスに描いた喜劇です。昔は、今のコントのようなものだったのでしょうか。『むずかしそう』と先入観を持たずに、一度ご覧いただければきっと楽しんでいただけたと思います。

- おうみ狂言図鑑 -

2011年から茂山千五郎家の協力を得て、滋賀県を題材にした新作狂言を制作し、現在までに13の新作狂言が生まれています。これらの作品を「おうみ狂言図鑑」としてコレクションし、滋賀県だけではなく全国でも広く上演されることで、狂言の「笑い」と「近江」の魅力を発信し、みなさんに親しまれていくことを目指します。

古典作品

① 1月26日(日) 東近江市てんびんの里文化学習センター

アフタートーク：茂山千之丞×旭堂南湖



こうやくねり
膏葉煉

鎌倉と都の膏葉煉の腕比べ

都の膏葉煉：茂山逸平
鎌倉の膏葉煉：茂山千之丞



こしいのり
腰祈

呪力効きすぎにつき要注意!

祖父：茂山あきら 山伏：茂山虎真
太郎冠者：島田洋海

② 2月16日(日) 甲賀市あいこうか市民ホール

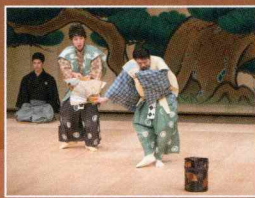
アフタートーク：茂山茂×旭堂南湖



かみやまぶし
柿山伏

悪さをするのは猿? 烏? 空を飛べる…山伏?

山伏：茂山竜正
畑主：茂山あきら



ぶす
附子

見るなど言われたら見たくなるのが人情

太郎冠者：茂山宗彦 主人：増田浩紀
次郎冠者：茂山千之丞

③ 3月22日(土) 日野町町民会館わたむきホール虹

アフタートーク：茂山千五郎×旭堂南湖



さどぎつね
佐渡狐

贈賄をめぐるドタバタ劇!

佐渡のお百姓：茂山茂
越後のお百姓：茂山千五郎
お奏者：茂山七五三



ちどり
千鳥

ツケがあつてはお酒は譲れぬ。さて、芸は身を助く…?!

太郎冠者：茂山千之丞 主人：茂山鳳仁
酒屋：茂山あきら



茂山千五郎



茂山七五三



茂山あきら



茂山茂



茂山宗彦



茂山逸平



茂山千之丞



茂山竜正



茂山虎真



茂山鳳仁



島田洋海



増田浩紀